

「自然と共に暮らせる町をめざして」

みなさんは雨上がりの木々や草花の香り、ウグイスやカッコウなど野鳥の鳴き声、夕暮れに聞こえるカエルの合唱等を近くで聞いたことがありますか？

幼稚園の時に経験した、落ち葉で焼いた焼き芋の味や、やかましの森を歩きながら食べたコクワの実の美味しさは今でも忘れられません。

北広島市に引っ越してくる前までは、となりの札幌市に住んでいました。そこでは夜中でも、救急車や暴走族のバイクの音等が絶えず聞こえ、窓から見える景色はカラオケハウスのネオンや、24時間やっているコンビニの明かりでした。でもそれが当たり前感じていました。ここに引っ越してきて初めに驚いた事は、夜に車の音が一つも聞こえず、その代わり虫の鳴き声が聞こえた事です。前になぜ北広島市に引っ越してきたか聞いた事があります。母は、その時「自分の子供の頃、自然がたくさんある所で育って色々とステキな体験をしてきたので、自分の子供にも小さい頃は自然がある場所で育てようと思ったからだよ。」と教えてくれました。

北広島市にもっと多くの若い人達が引っ越してくると、町もにぎわい、年をとった人達の助けにもなり、ふれあいももっと広がっていくのではないのでしょうか？

これからも自然を残しながら自然と共に暮らし、私たちの様な小さな子供が心に残るステキな体験が出来るような町を目指してほしいと思います。

「北広島市のいいところ」

北広島市のいいところは、自然がいっぱいあるところです。緑や昆虫などいろいろな自然があります。

大きな店もたくさんあります。なのでとても便利です！

コンサートができる場所もあります。いろんな発表会をやっています。

北広島では大根がたくさんとれます。すごくおいしいです！

北海道で初めてお米作りを始めたのが北広島です。西部小では、4年生になると田植えをします。初めて北広島で米を作った人の居た所にも行きました。

初めてお米を作った人は、「中山きゅうぞうさん」という人です。私は初めて田植えをしてとても楽しかったです。この体験は西部小だけがやっていることです。

これからの北広島市では、みんなが環境に気をつける町になるといいです。

事故のない北広島、いじめのない町、そして自然を残してほしいと思います。

北広島市は、探せばまだまだいいところはあると思います。

これからもいいところが増える北広島であってほしいです！

「きたひろしまの未来のイメージ」

私の思う今のきたひろしまのイメージは、「子供からお年寄りまでの笑顔・ふれあい」です。きたひろしまは、子供からお年寄りまでふれあっているのがとても印象的です。また、毎日笑顔が絶えません。なので、きたひろしまはとても気持ちのよい町なのです。

私が考えたきたひろしまの未来は、「子供からお年寄りまで楽しめる！！ゆったりきたひろしま観光」です。そのためにきたひろしまのマスコットキャラクターを製作したらいいと思います。

きたひろしま観光は、バスではなく徒歩でめぐる観光です。歩くためには「エルフィンロード」の横に「ゆったりロード」を作ったらいいと思います。

「ゆったりロード」とは、徒歩専用の道です。途中には「ゆったり駅」という駅があり、水分補給等が出来る駅です。

私のイメージはこんな感じです。

きたひろしまの未来はまだ決まっていないので、みんなでもっといいきたひろしまの未来を作っていきたいです。

「発展する北広島」

私は、夏休み中ニュースで見て気になった事は、「ゲリラ豪雨」という聞いた事のないような洪水の事です。台風による崖崩れで毎日犠牲になる人がたくさん出るといふ悲しいニュースが聞こえてきます。これらを異常気象といふ、地球温暖化が原因とも言われています。

私たちが大人になる頃には、地球がどうなっているかとても心配です。

夏休みに入って間もなく、宇宙飛行士の若田さんが133日目にスペースシャトルから帰ってきました。さっそうと手を振る若田さんはとても足取りも軽く、過酷な宇宙生活をしてきたようには見えないうらい生き生きとして見えました。他に宇宙飛行士には、北海道出身の毛利さんもいます。女性宇宙飛行士もめずらしくありません。

北広島市は、千歳空港、札幌市とも近いのでこうした事を利用して、将来宇宙飛行士をめざす人を訓練する学校を作ったらいいと思います。

また、東広島市とも姉妹都市になっているので、平和の大切さを小学生の時の交流体験で子供の頃から身につけています。

北広島市は今は若者がたくさんいて活気のある町というよりは、60代、70代の高齢の方がたくさんいるシニア世代中心の町です。子供たちはそういう方たちともふれあいを持つ機会をたくさんつくり、いろいろな事を教わって未来に役立つ事を学ぶことも良いと思います。

北広島市に北海道内をはじめ、全国各地、世界中から科学を志す人達が北広島宇宙研究所に集まることが叶えられれば、とても夢のあるすばらしいことだと思います。

私は今からワクワクしてしまいます。

「豊かなまちを目指して」

僕は、生まれたときから北広島に住んでいます。住んでいて良いと感じるところは、緑が多く、自然が豊かなところですよ。

数年前までは、北広島の人口は増加し続けていました。しかし、北広島は札幌のすぐ隣にあり、交通の便がとても良いのにも関わらず、今ではほぼ横ばい状態になっています。特に子供は減少傾向にあります。これでは将来を担う人材も不足するし、まちは活性化していきません。

これから北広島を活性化させていくためには、まずは子育ての支援を進めていくことが重要だと思います。例えば恵庭市では、0歳から就学前までの子どもとその親が対象の「恵庭市プレイセンター」を開設しています。そこでは、子どもたちは自由に遊びを選ぶことができ、親たちは自主運営しながら悩みなどはみんなで話し合うことができます。つまり、単なる子育て支援だけではなく、学び、交流して親子共に成長できる場です。そういう場をつくることによって、子育ての環境が一層整い、まちの活性化が図られます。

数年前には、マックスバリュなどの大型店が開店しましたが、率直な感想を述べると、大曲を除いて経済を活性化させることは現時点では困難だと思います。不況で消費者の節約志向が続いているからです。それよりも今は多くの小中学校は古いままなので、統合も踏まえた上で場合に応じては建て替えるなど、教育の方面にも力を入れるべきだと思います。

北広島は札幌のすぐ隣にあり、交通の便がとてもよい。また、緑が多くとても住みやすい環境です。

将来北広島が、たくさん子どもたちでにぎわう豊かなまちになればいいなと思います。

自然が「豊か」、人々が「豊か」。この二つの「豊か」で北広島はさらに良い「まち」になるはずですよ。

「こんな北広島に・・・」

ぼくは将来こんな北広島になってほしいと思うことが2つあります。

1つ目は地域どうしの交流がもっと盛んになってほしいと思います。なぜかという、小学校ではドッチボール大会などで交流する機会がありますが、それ以外の場面での交流する機会があまりないと思ったからです。なのでこれから年齢に関係なく、だれでも気軽に参加できる行事をつくれればいいと思います。

2つ目はもっと自然を増やして、空気の気持ちいい地域になってほしいと思います。なぜかという、自然が増えると周りが明るくなるような気がするし、空気が気持ち良くなるとみんながいい気分になるからです。なので地域で花や木などを植える活動をして、北広島市に自然を増やしていけばいいと思います。

ぼくは、北広島市のとなりに札幌市があるのがちょっといやです。なぜなら都市のとなりにあると、北広島市まで都市化がされそうなのでいやです。都市化が進むと人々の交流が少なくなりそうだし、なにより自然がどんどん少なくなっていくのは絶対にいやです。それを防ぐために使っていない建物を取り壊し、木を植えたりしていけばいいと思います。

ぼくが書いていることは、経済的に難しいことばかりかもしれませんが、これをやれば今よりも北広島市がさらにいい街になると思うので、何年かかっても人々の交流がとて多くて、自然がたくさんあって、空気のきれいな街に北広島市がなってくれたらいいと思います。

この自然を増やすというのが実行できなかつたとしても、人々が年齢に関係なく誰でも参加できるような行事は絶対につくってほしいと思います。

将来どんな北広島市になったとしても、ぼくは北広島市のことが好きです。

「未来の北広島市」

北広島というと、僕は2年間「北広島幼稚園」に通っていたことを思い出します。その時のことは、あまり記憶にないのですが、インターネットで検索すると、市の面積の40パーセントが森林で占められている、緑豊かな環境にあるということがわかりました。

そこで、未来の北広島市について考えてみると、自然を生かした観光地を作ること。例えば、森林の中に植物や鳥などの生物をありのままで見れる散策路を作るのもいいなあと思います。

このように、自然とふれ合う町づくりを行うことで、人と人とのつながりも豊かになっていくと思います。

また、北広島市は北海道の大都市「札幌市」と北海道の玄関口「新千歳空港」の間にある。また、国道36号や国道274号、高速自動車のインターチェンジもある。

この地理的条件を利用した町づくり。例えば、各地域へ輸送できる道路が整備されているので、その長所を生かした大量な物を作る工場や、逆にスーパーを作って人を集めることができると思います。

ただ、初めに述べたようにあくまでも自然を大切に考えた町づくりであってほしいと思います。

最後に北広島市ならではの名産を作って観光客を呼び、経済がうるおう町になってほしいと思います。

以上の3点が未来の北広島市につながってくればいいと思います。

「考えるまち 北広島」

私は将来北広島市で働こうと思っています。そこで重要なのは「住みよいまちづくり」だと私は思います。

まず、私はこの先北広島にいたのであれば、今の自然豊かな北広島がいいです。確かに住みよいまち、と聞くと大都市など「ハイテク」が進んだまちだと思われれます。ですが、いくら使いやすいまちであっても人の心にゆとりを持たせないまちは、市民のためにあるとは言えません。ある一例ですが、東京の人は北海道に来ると「いやされる」、「心にゆとりができる」といいます。それは東京の人がどれほど自然と関わっていないかを示しているのです。

もし、未来の北広島が緑のない、灰色のコンクリートのまちになってしまったらと思うと耐えられません。人は昔から自然と共存してきたのです。今の北広島には豊かな緑の自然があります。なので私は、この緑のある北広島を守っていくべきだと思います。

次に、北広島は「安全なまち」になることが必要だと思います。今、北広島の道路には安全を呼びかける看板が立っています。これはとてもよい傾向であると思います。しかし、時々私はもっと信号機を増やしてほしいと思うときがあります。北広島にはたくさんの細い道があります。ですが、その細い道のほとんどには信号機がありません。その中では車の通りや子供の通学路が多いところもあります。もし、その場所をそのままにしていたら、将来車と人の交通事故が起こるかもしれません。車の人に悪気はなかったとしても、もしその歩行者が死んでしまったりしたら、その人は罪を犯したことになると思います。そのようなことを防ぐには、前々からのしっかりとした対策が必要です。

私が今回書いたことはほんの一部に過ぎません。ですが、私たち市民にもこのようなことが大きく関係しています。未来の北広島には、もしかすると我々北広市民の考えや行動が一番大切なのかもしれません。